

開校準備協議会だより

令和7年8月21日発行
開校準備協議会

◇ 今城市長との意見交換を実施しました

7月29日(火)に準備協議会第6回会議を開催しました。会議には今城市長も参加され、新小学校に対する熱い思いを伝えられました。その後に行われた協議会委員との意見交換では、市長、委員ともに双方の意見に耳を傾けられ、マキノ地域の子どもたちのためにより良い教育環境が整備されるよう決意を新たにしました。



今城市長の思い(要約)

- ・ 全国から注目され、ここで学びたいと思ってもらえるような学校をつくりたい。そのためには、例えば、地元産木材をはじめとした木をふんだんに使用した校舎にしたい。
- ・ 躯体が鉄筋コンクリート造で屋根組みが木造という方法も考えられる。
- ・ 環境省の「エコスクール」といった制度を活用し、環境に配慮した建て方をすると補助金の対象になることもある。
- ・ 児童だけではなく地域の方々も本に触れ合えることが大事である。ハード面だけではなく学校司書などの人と合わせて考える必要がある。



- ・ 各学校における児童数の状況を考えると一刻も早く統合する必要があるという認識でいる。
- ・ 良い学校を建てることと、一刻も早く完成させることの両立は難しい課題であり、令和10年4月に新校舎を完成させることはスケジュール的に非常に厳しい状況である。改めて具体的なスケジュールをお示ししたい。

裏面もご覧ください。

委員から出された意見（要約）

- 明るい未来を持てる計画が進められるのはすごく良い事であるし、そういった思いを汲んでもらって良い方向に進めていただけてありがたい。
- 中学校の横に小学校が出来るといった話になった時に、高島学園のように小学校と中学校が隣接した小中一貫教育のような形態で小学校6年間と中学校3年間の9年間を連携した形でやっていただけるのはありがたい。
- 現在、3小学校では、令和10年4月の統合に向けてマラソン大会や修学旅行も合同で実施している。教職員の共同研究では、子どもが新しい学校生活をスムーズにスタートできるように、教職員が統合を意識するように話している。
- 前向きに学校の統合の話が進められているので安心している。こども園、小学校、中学校と滑らかな連携をとってもらいたい。
- 私の気持ちからいうと、令和9年にも統合してほしいぐらいであるが、令和10年4月を目指して進んでいる協議会なので、そこで開校できるような姿を目指していきたい。今の6年生は令和10年4月には同じ敷地にある学校の最高学年となるということで、機運が盛り上がっている。スケジュールを調整していただきながらより良い学校の建設ができるとありがたい。
- スケジュールが大事だと思うが、工事の一部が残っていてもいいのではないかと。子どもたちが工事の様子を見るのも教育になる。
- もし工事完了が間に合わない場合、一旦既存の学校に入ることができて、その後新校舎に入る。そういった形がとれるのであれば来年でも再来年でも統合してもらいたい。
- 新校舎建設のスケジュールを示してほしい。こういったことにどれだけの期間を要するのか、どこを縮められるのかといった議論もできない。



◇ 委員の交代について

7月23日に開催されたマキノ地域区長等連絡会で役員の改選があり、これに伴い委員の変更がありましたのでご紹介します。

(旧) 西辻 忠雄 (マキノ地域区長等連絡会会長・在原区長)



(新) 木下 浩之 (マキノ地域区長等連絡会会長・下開田区長)

(事務局) 〒520-1592 高島市新旭町北畑565番地



高島市教育委員会事務局 教育総務部教育総務課

TEL : 0740-25-8558

Mail : kyoi-somu@city.takashima.lg.jp



『開校準備協議会だより』
は、市のホームページでも
見ることができます。



開校準備協議会
ホームページ